



# 下山小だより

身延町立下山小学校  
Tel 0556-62-5107  
Fax 0556-62-5388

下山小の合い言葉 あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり

## 2学期がスタートしました

35日間の夏休みが終わり、元気な子ども達の笑顔が下山小学校に帰ってきました。みんな一回りも二回りも大きくなったように見えます。きっと、長い休みの中で、自分なりに工夫したり、やってみたりしながら、自分の頭で考え生活してきたからだと思います。新型コロナウイルスの感染に気をつけながらの休みでしたが、生活習慣や健康管理等ご家庭で気をつけていただき、元気に登校できたこと、とても嬉しく思います。

2学期は、1年の中で1番長い学期です。運動会や修学旅行や校外学習等、行事もたくさんあります。学習へも集中して取り組める時期だと思っています。子ども達には、一つ一つ楽しみながら、自分の目標を立て、一生懸命取り組んでほしいと思っています。2学期の終業式には、しっかり取り組めた自分をふり返り、自分の成長を確かめられるようにしたいと思っています。充実した日々が送れるよう、教職員一同、一人一人の様子を丁寧にしながら、学習活動を進めていきたいと思っています。

まだまだ新型コロナウイルスの感染対策を行いながらの学校生活となります。子ども達と共に対策を徹底して行い、安全に、安心して学校生活を送れるようにしていきます。保護者の皆様には、引き続き感染対策も含め、下山小教育へのご協力をお願いいたします。

### 2学期学級役員

2学期の学級役員が決まりました。9月2日の金曜集会で認証状を手渡しました。表情が引き締まり、やる気に満ちていました。2学期も学級で様々な取り組みを行うと思います。中心となって力を合わせてがんばってほしいと思います。

学年	会長	副会長
3年	深山 愛理	高橋 音
4年	渡邊耀太郎	石川 結希
5年	小林 憲士	望月 彬希
6年	佐野 瑠架	北條 凜

### 2学期始業式 8月26日

2学期の始業式は感染対策のため、各教室と図書室をつなぎ、リモートでおこないました。子ども達に以下の様なことを話しました。

- ・ 2学期も感染症対策を徹底していくこと。
- ・ 感染症に気をつけながら、できることを行い、しっかりと学びを積み重ねてほしいこと。
- ・ 自分のやりたいことをめあてにして、たくさん挑戦してほしいこと。
- ・ 周りの人達への感謝の気持ちを持ち、お互いに温かい気持ちで接してほしいこと。
- ・ みんな笑顔で一人一人が大切にされ、みんなで成長し高まってほしいこと。

一人一人が大きく成長できる2学期であってほしいと思います。

## プログラミング教室

7月23日、24日の二日間、身延町教育研修センター主催のプログラミング教室が下山小を会場に開催されました。町内小学校5、6年生24名が参加し、講師の指導のもと、プログラミングを学びました。各自タブレットを使い、自分のアイディアで工夫しながら取り組んでいました。これまで、各学校でもプログラミングの学習を進めてきているので、スムーズに楽しく活動することができました。今後も、各学校で年間指導計画に沿ってプログラミング学習を進めていきます。



## イングリッシュ・デイキャンプ

7月27日に中富地区公民館西嶋分館で、身延町教育研修センター主催のイングリッシュ・デイキャンプが実施されました。町内小学校6年生25名が参加し、ALTの指導を受けながら、英語でのコミュニケーションを楽しく学びました。様々なイベントやゲームを楽しみながら、同じチームの人達と協力し、交流を深めていました。英語を使ったコミュニケーションに自信がついたようです。さすが身延町の6年生。活動に積極的に取り組む姿が印象的でした。

## 夏休みの図書館

夏休みに図書室の開館日が3日ありました。全校児童95人中、38人が図書館を利用しました。3日間利用した人も大勢います。読書は新しい知識が身についたり、想像力が豊かになったり、ストレス解消になったりと良い効果がたくさんあります。人生を豊かにしてくれる読書。時間を見つけて、進んで本を読んでほしいと思います。

9月2日に、2学期最初の金曜集会がありました。運動会の練習が始まるので、一生懸命やることの話をしました。武田信玄の次の言葉を紹介しました。

「一生懸命やると知恵がでる。中途半端にやると愚痴がでる。いい加減にやると言い訳がでる。」

若い頃、いい加減に力をぬいてやり、言い訳をしていた自分がいます。また、どっちつかずの態度で行い、ブツブツ言いながらやっていたこともあります。今思うと、もっと真剣にやるべきだった、全力でがんばればよかったと、後悔ばかりです。

子ども達には、一生懸命やった後の自分の思いや考え方の変化、充実感を味わってほしいと思っています。その体験の上にまた新たな挑戦が積み上がり、さらに上を目指していけることを実感してほしいと思います。力を合わせて、一生懸命取り組んだ時のさわやかな一体感を味わって、友達と一緒に、共に励まし合いながら成長していくことを願っています。

文責 校長 新田 修